

平成 27 年度における県の主な取組状況

担当課 環境政策課

事業名	未利用資源等リサイクル促進事業（生ごみの減量化促進）
趣 旨	本県の家庭から出る可燃ごみの約半分は生ごみとなっていることから、生ごみの減量と食品ロスの削減を促進するため、食材を使いきる、料理を食べきるなどの工夫がなされた、環境に配慮した「エコ料理」の普及啓発を図る。
主な取組	平成 26 年度に作成した「エコ料理レシピ集」を活用し、各家庭及び地域の中で生ごみ減量と食品ロス削減に向けた取組を推進するため、青森県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、「エコ料理」講習会を開催した。 （開催場所） 青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、三沢市、むつ市 （開催日） 平成 27 年 8 月～11 月 （内容） 「エコ料理」調理実習 生ごみ減量・食品ロス削減講習 （参加者） 食生活改善推進員及び一般県民 194 名
今後の取組方向	「食事は使いきる」「料理は食べきる」「生ごみは水気をきる」の 3 つのきるを広く県民運動として普及啓発活動を展開していく。

担当課 がん・生活習慣病対策課

事業名	健やか力応援事業 ～地域・職域におけるヘルシーあおもり健活メニュー事業～
趣 旨	平成 25 年度、26 年度に青森県立保健大学へ委託し、県内 20～30 歳代前半の男女を対象とした食習慣調査を実施し、その結果をもとに作成した、若い世代向けメニュー集の活用により、望ましい食事の普及による生活習慣病の予防を図る。
主な取組	青森県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、イケメンズヘルスアップ cooking、健やか女子ヘルスアップ cooking のメニューの普及を図った。 ①研修会の開催 若い世代（10 代後半から 30 代）を対象に調理実習及び講話を実施 9 会場 約 200 人に実施 ②試食提供 市町村の健康まつり、イベント等の参加者を対象に試食提供を実施 15 会場 約 4,000 人に試食提供
今後の取組方向	地域及び職域における正しい食生活の普及・啓発のために、調理実習等でメニュー集の活用を図る。

事業名	学校給食県産品供給・利用拡大事業
趣 旨	学校給食における県産食材利用率向上のため、学校給食向け冷凍カット野菜の供給拡大や、県産食材・加工品の利用拡大に取り組んだ。
主 な 取 組	<p>(1) 学校給食向け冷凍カット野菜等の供給拡大 冷凍カット向けこまつな供給拡大を図るため、収量性向上のための実証ほを設置するとともに、関係者による現地検討会（8／26）を実施した。</p> <p>(2) 県産食材・加工品の利用拡大</p> <p>ア 地域食材活用促進に係る現地セミナー（8／4） 学校栄養士や学校給食関係者を対象に、農業生産現場の見学、農産加工組織の取組紹介等を行った。</p> <p>イ 県産食材を使用した加工品の紹介・PR 学校栄養士協議会冬期研修会（12／25）において、県産米粉、野菜、畜産物、水産物を使用した学校給食向け加工品リスト（20品）を作成。配付するとともに、商品を表示・試食提供しPRした。</p>
今後の取組方向	関係団体と連携し、引き続き、学校給食における県産食材の利用率向上を図る。

事業名	味感を育む「だし活」事業
趣旨	<p>だしを活用した減塩の推進による健康寿命・平均寿命の延伸を目的に、青森県産の豊富な農林水産物を活用した使いやすい家庭及び給食向けのだし商品の開発と販売支援、子どもの頃から薄味の習慣を身に付けてもらうために保育所や学校給食等の担当者に対する普及啓発の実施、家庭での定着に向けた需要開拓と広報活動を実施した。</p>
主な取組	<p>(1) だし商品の開発と販売支援</p> <p>県内のだし素材や加工業者等の資源調査を行い、業者等を対象に勉強会を実施。その中から、ワーキンググループを立ち上げた。給食用6商品、小売用3商品を開発し、平成27年3月から「できるだし」シリーズとして販売中。</p> <p>平成27年12月末現在、小売用商品は約220店舗で販売され、納品数は約50,000個となっている。</p> <p>なお、平成28年2月15日より、できるだし新商品として、給食用1商品、小売用5商品が新たに販売された。</p> <p>(2) 給食等の担当者に対する普及啓発の実施</p> <p>栄養教諭や地域の行政栄養士等専門職を対象とした継続しただし活の推進に向けたシンポジウムや、給食施設を対象に、だしの活用事例についての研修会を開催し、セミナー約100名、研修会約300名の参加があった。</p> <p>また、「できるだし」を使用した給食用だし活料理レシピ集を作成し、実際に各給食施設等でだしを活用したメニューが提供できるよう県内の給食施設・社員食堂等約1200カ所に配布した。</p> <p>(3) 需要開拓と広報活動</p> <p>だしの良さを理解してもらうために、県内約12か所の量販店やスーパー等でだしの試飲会を開催、3歳児健診等で、親子に対するだし活のPRを行うとともに、だしの活用に関するチラシを作成し配布した。なお、小学校5年生の家庭科授業で使用できる資料を作成、子供から保護者への周知につなげる予定。</p> <p>また、県内学校（青森県立保健大学、青森中央学院大学、青森中央短期大学、東北女子大学、八戸工業大学、八戸高専、青森高校）、民間（だしソムリエ）等と連携し、広く県民へ周知（平成28年1月末現在延べ7,400名）した。</p>
今後の取組方向	<p>(1) 家庭や地域、若い世代に県産だし素材やだし商品の普及を行う。</p> <p>(2) 量販店やスーパー等でのだし活のPR活動を展開する。</p>

事業名	野菜で健康大作戦事業
趣 旨	野菜の摂取量不足による栄養バランスの偏りが、全国一の短命県である要因の一つと考えられていることから、県の健康長寿県プロジェクトの一環として、野菜摂取に対する県民の意識を高め、栄養バランスの良い日本型食生活への見直しを図る。
主な取組	<p>1 野菜を食べようキャンペーンの展開（8月31日～11月30日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の野菜の小売店や直売所（247店舗）の協力を得て、店頭で啓発活動を実施 ・全農あおもりと連携してキャンペーン前日（8月30日）に、キックオフイベント（A-FACTORY：青森市）を実施 <p>2 あおもり野菜で健康まつりの実施（9月19日～22日、青森県観光物産館：青森市）</p> <p style="padding-left: 2em;">野菜と健康に関するミニ講座や展示の実施</p> <p>3 食育や地産地消関連イベントなどでの野菜の摂取量アップの啓発</p>
今後の取組方向	<p>県民の野菜摂取量アップ等による健康的な食生活の実践を促すため、食育でキーとなる世代別に実践に繋がるための取組を展開する。</p> <p>※「野菜のちからで未来を変える食育実践事業」（H28～29）</p>

事業名	あおもり食命人自立活動支援事業
趣 旨	「あおもり食命人」の組織化を促し、「あおもり食命人」を対象とした高度な研修を実施してスキルアップを図りながら、「あおもり食命人」が自立して食育活動などの地域貢献活動を実施できる体制を構築する。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「あおもり食命人ネットワーク」を設立（2月） ・食と健康に関する専門的な「あおもり食命人育成研修」を開催（6回、青森市）し、安全・安心な旬の県産食材を生かしたバランスの良い健康に配慮した食事（＝「いのちを支える食」）を提供できる外食・中食事業者を「あおもり食命人」として177人を登録（平成28年1月末現在） ・「あおもり食命人スキルアップ研修」を開催（7回、青森市・弘前市・八戸市） ・「あおもり食命人セミナー」を開催（6回、青森市・八戸市） ・「食フェア」の開催（10～11月）やシンポジウム（2月、青森市）、食のおはなし会（47回）の開催などによる食命人の取組や健康に配慮した食事について広く県民に周知
今後の取組方向	あおもり食命人のスキルアップを図りながら、「あおもり食命人ネットワーク」を中心とした地域貢献活動への支援や情報発信を行う。

事業名	地域循環型新規需要米利用拡大事業
趣 旨	米粉用米の安定生産のため、消費者への米粉の機能性や商品等をPRし、米粉の地域内消費の促進に取り組む。
主な取組	○イベントによる米粉利用拡大の推進 ・米粉PRイベントの開催（2産直施設）
今後の取組方向	

事業名	青森りんご食育パワーアップ推進事業
趣 旨	幼少期からのりんごを食べる習慣づくりの推進と県産りんごの消費拡大を図るため、これまで育成してきた食育講師である「青森りんごシニアマスター」や「青森りんごマスター」等を活用し、りんご食育活動が自発的かつ円滑に進められる体制の構築を図る。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地区青森りんごの会及び大坂地区青森りんごの会を実践モデル地区とし、青森りんごシニアマスター等を中心としたりんご食育活動のレベルアップの取組や小学校等でりんご食育に係る出前事業を行った。 ・ 県外3か所（名古屋市、大阪市、北九州市）で、「青森県知事直伝！親子で学ぶアップルスクール（青森りんご出前授業）」を実施し、知事が講師となって小学生親子に青森りんごのすばらしさを伝授した。 ・ 学校関係者による「りんご食育」の充実を図るため、下北地区学校栄養士協議会夏季研修会において、青森りんごの食育活動について説明した。
今後の取組方向	今後も引き続き「知事のアップルスクール」を始め、幼少期からりんごを食べる習慣づくりに係る取組を実施していく。

事業名	青森の豊かな海が創る「おさかな自慢」PR推進事業
趣 旨	おさかな自慢応援隊やおさかなキッズ等により地元から本県水産物の自慢情報の発信、PR活動、料理教室等を行い、本県水産物の消費拡大を図るものである。
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> ①おさかな自慢応援隊による誘致支援 首都圏において、青森県フェア等に参加しPR活動を行った。 ②おさかなキッズ育成 おさかな応援隊が講師となり料理教室や漁業体験を行った。 ③地域特産水産物情報収集・発信 新たな22魚種の情報を収集、取り纏めた。
今後の取組方向	今年度で終了。

事業名	漁業の担い手確保・育成事業
趣 旨	漁業の現場と連携し、小中学生を対象とした水産教育を行う事により、水産物や漁業に関する理解を深め、漁業の担い手の確保を図るものである。
主な取組	①小中学生を対象に啓発体験学習の実施 各地でワカメ養殖体験やサケ放流などの水産教室やお料理教室を開催した。 ②水産教室用パンフレットの作成 青森県の水産物や漁業を紹介するパンフレットを作成した。
今後の取組方向	平成27年度と同様の活動を実施し、本県沿岸漁協のPRと水産業の普及啓発を推進する。

事業名	子ども健康促進事業
趣 旨	肥満傾向児の出現率を低下させるため、学校・家庭・地域社会が連携し、児童生徒の運動量の増加、体力向上、食育の推進を図るとともに、保健体育・健康教育に関する教師の指導力の向上を図る。 また、学校教育活動以外の場面での運動量の増加と家庭における食育の推進を図る。
主な取組	食育に関連した取組として ①あおもり型給食普及事業【スポーツ健康課】 ・あおもり型（減塩、野菜摂取等）給食の提供・普及啓発 ・小中学校教員を対象とする研修会・講習会の開催 ・青森県版食に関する指導教材（レシピ集）の作成と配付 ②青森っ子健康サポート（SSS）事業【スポーツ健康課】 ・指定校での取組 ・栄養管理システム運用 ・食育実践発表会 ③地域で進めるすくすく青森っ子育成事業【生涯学習課】 ・食卓からヘルスアップセミナー開催 ・親子健康キャンプ
今後の取組方向	児童生徒の望ましい食習慣の形成のために、「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」は、事業終了後も継続的に取り組んでいくとともに、栄養管理システムの運用については、全県で取り組めるよう体制づくりを行う。

事業名	イベントにおける食育の推進・普及啓発
趣 旨	上北管内で開催されるイベントを活用し、食育の推進・意識啓発を図る。
主 な 取 組	<p>県民局事業「『かみきた畑美人』美・食・楽クローズアップ事業」による上北地域の若手女性農業者「かみきた畑美人」の活動紹介を目的としたイベントにおいて食育紹介コーナーを設置し、イベント来場者への食育や野菜の摂取量向上に対する意識啓発を目的とした取組を実施した。</p> <p>イベント名：かみきた畑美人マルシェ 期 日：平成27年11月8日（日） 場 所：アグリノ郷おいらせ（おいらせ町） 来 場 者：52名 実施内容：食育パネル・フードモデルの展示 上北産野菜を活用した野菜料理の試食 食育関連のパンフレット配布（6種類） 野菜の摂取量に関するクイズ、アンケートの実施</p>
今後の取組方向	今回参加したイベントだけではなく、管内で開催されるイベントにも参加し、食育の推進・意識啓発を図る。

事業名	下北地域健康なまちづくり事業（健康アップ体制推進事業）
趣旨	<p>下北地域は県内でも平均寿命が短い市町村が多く、肥満者割合や喫煙率が高い、健診受診率が低いなどの課題が多いことから、健康意識の向上が課題となっている。</p> <p>特に肥満者割合は成人、児童・生徒共に高い状況にあり、児童・生徒の肥満傾向児の出現率は、すべての学年で他圏域を上回っている。これら下北地域の健康課題を改善するため、子どもの肥満予防を切り口とした取組を推進するとともに、地域住民の健康教養の向上及び、家庭・学校・企業・行政など地域一体となった健康づくりの気運醸成を図るために取り組む。</p>
主な取組	<p>健康づくりの気運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下北地域健康アップフォーラムにおける、むつ保健所管内食生活改善推進員連絡協議会によるヘルシーメニューの試食提供 ・市町村職員を対象としたメディコトリム <p>健やか力普及定着事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育用栄養・食生活 DVD の貸し出し。 <p>小児肥満の原因を探るための地域ケアシステムの構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に子どもの体格や生活習慣の情報を収集・分析するとともに、関係者と情報共有する体制を構築。
今後の取組方向	<p>小児肥満対策、子どもの健康な生活習慣定着のための事業等は、母子保健ネットワーク会議など既存の事業で継続実施</p>

事業名	下北産直「元気アップ」応援事業（平成27～28年度）
趣旨	農林水産物直売所が取り扱う下北産農産物の種類や優れた機能性等を学び、食育や地産地消を図る。
主な取組	「下北産で元気アップ！クッキングセミナー」の開催（12月13日） ・下北産野菜の種類や特徴のほか、おいしい野菜の見分け方や栄養を損なわない調理方法（講演） ・下北産の食材を使用した「そばの実と干し芋の薬膳粥」「厚揚げとブロッコリーのそばの実あん掛け」など（調理実習）
今後の取組方向	平成27年度と同様の活動に取り組む。